

介護に関する講演会

～仕事と介護の両立のために～part II

1.開催の目的

「いざ、介護と向き合うことになった時」を経験された本学職員の経験をとおして、ご本人やご家族、地域支援、関係機関の連携や本学の制度を理解していただく。

2.開催日時および場所

開催日 平成30年2月14日(水) 午後5時30分～午後7時
場 所 教育棟4階402教室

3.対象 本学教職員

4.内容

本学職員の介護経験をもとに、地域包括支援センター、本学のMSC看護師、ソーシャルワーカー、人事担当者らによる様々な立場の方にご参加いただき、「介護」の問題は決して他人事ではなく、いつ起こるか分らない身近な問題として知っていただくために、情報や知識を伝える。

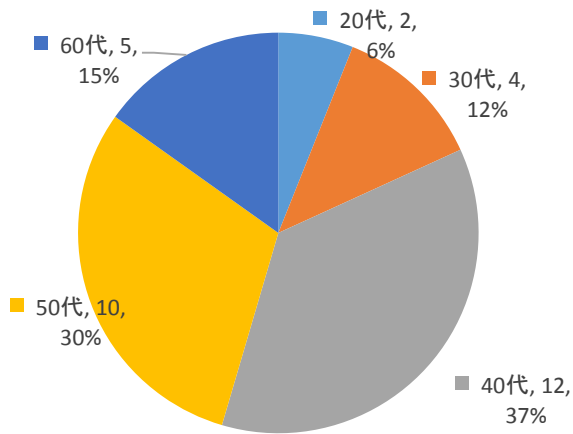
コーディネーター：呼吸器内科 佐治淳子

挨拶および開催の目的	高橋 保育・介護支援部会
講演：「介護」の経験をとおして伝えたいこと、今後のこと（介護事例紹介）	呼吸器内科 佐治淳子 講師
ディスカッション：	
鷲ヶ峯地域包括支援センター	宮下容子 主任介護支援専門員
MSC看護師	保科 かおり 師長
MSCソーシャルワーカー	桑島 規夫 係長
人事課	曾根田里子 主幹
質疑応答	
感謝状授与および閉会の挨拶	伊野 副センター長

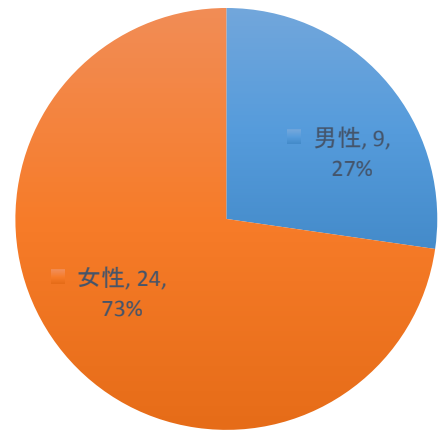
5.参加者数 41名（教員、看護師、コメディカル、研究補助員、事務職）

6.アンケート回収 29名（70.7%）

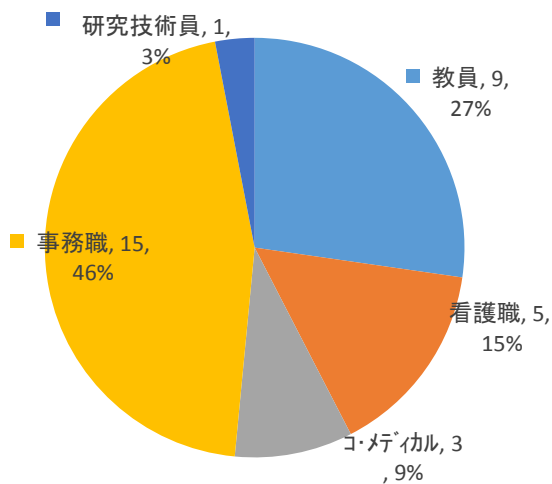
1.年齢



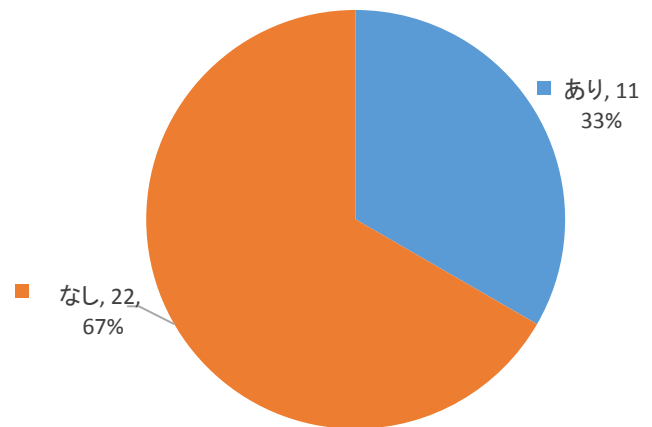
2.性別



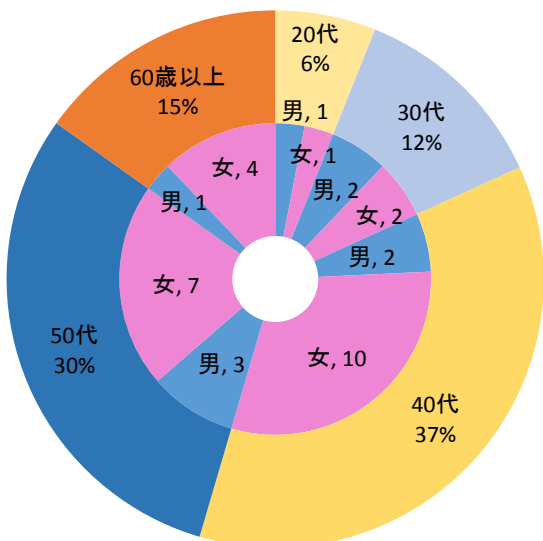
3.職種別



4.介護の経験



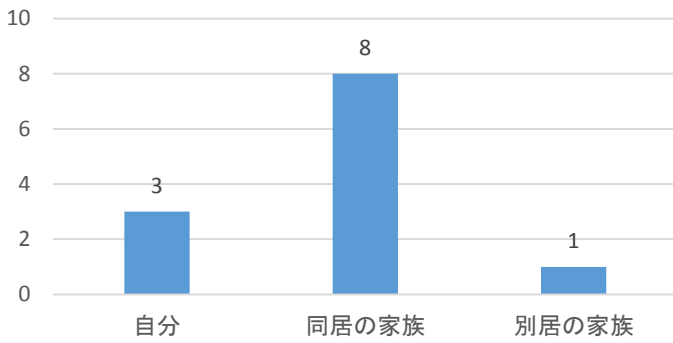
1.年齢別、2.性別



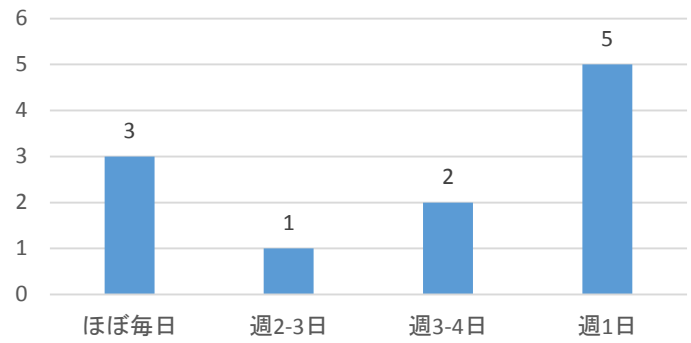
4.介護の経験、1.年齢、2.性別



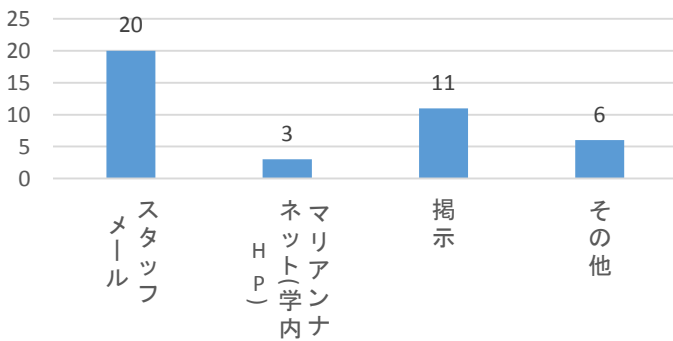
5. 主な介助者(介護経験ありの方)
(複数回答)



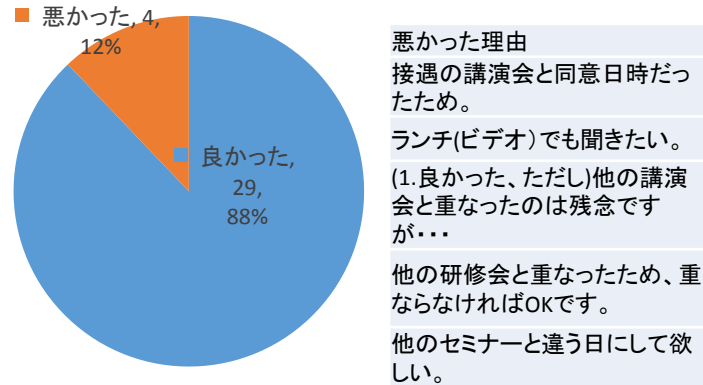
6. 介護の頻度(介護経験ありの方)
(複数回答)



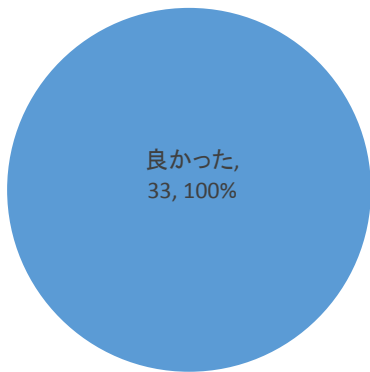
7. 講演会の開催を何で知りましたか(複数回答)



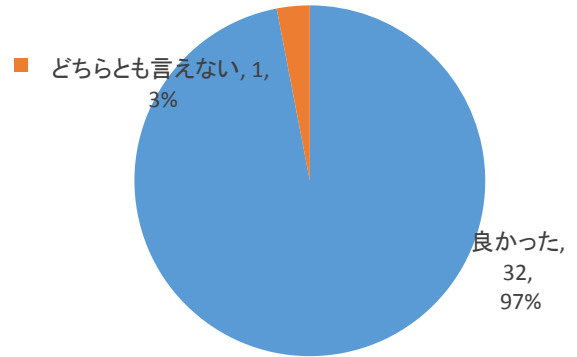
9. 日時について



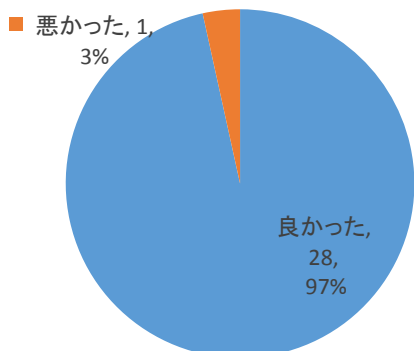
10. 場所について



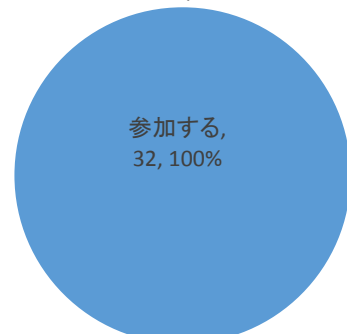
11.1) 内容について「介護経験について」



11.2) 内容について「ディスカッション」



12. 今後このような講演会があったら参加しますか



8参加された動機は何ですか

- 1 長男だから、今後、親のことが心配なため。
- 2 テーマ(介護を経験した方のお話)に興味を持った。
- 3 そろそろ実母の介護について考える年代に入ってきたため。
- 4 親が高年齢なので。
- 5 将来のため。
- 6 両親が70代半ばとなり、身近に感じたため。
- 7 ・将来的には、自分にも関わりがあると思ったので。
・祖母の介護を母がしていたので、関心があった。
- 8 業務に役立てると思った。
- 9 今後、必ず経験することを、現実的に受け止めたいと思った為。
- 10 自分自身の近い将来のため。
- 11 自分の勉強のため。
- 12 将来の為。
- 13 介護の情報を得たい。
- 14 介護経験より。
- 15 中学の時、ガンの母を自宅で介護していました。高校受験が終わり、半年したら亡くなりました。そんなことから、父が90歳を越えても元気です。そんな父をいつか介護したいため。
- 16 介護事例からの学びを、家族の場合に転換して考えていきたい。
- 17 介護の実際をうかがいたかった。
- 18 役立つと思った。
- 19 介護をするにあたり、何が必要なのかを知りたかった。
- 20 佐治先生とは、同じチームで診療に関わらせて頂いたことがあり、お母様のことなど伺っていたことがありました。身近な方の経験談を伺うことで、より現実的な問題として受け取ることができると思ったためです。
- 21 父の在宅介護をスタートするので。
- 22 今後、在宅での介護が必要になったときの参考にしたいと思った。
- 23 現在、認知症の母親を介護しているの、参考になるかと思いました。
- 24 仕事と介護の両立について。
- 25 介護は人ごとではないという気持ち。
- 26 自分も介護を経験することが予想されるから。
- 27 近い将来的状況から。
- 28 関係者だから。

自由記載

- 1 なかなか聞くことができない内容だった。公の場で、経験者の話を聞いてよかった。
パネラーの方のコメントも、大変良かったです。
- 2 実際、親の介護が必要になった場合、誰に教えてもらえば良いか、どこに行けばよいか分からないので、今後も、このような講演をしてもらいたい。
- 3 実際の体験談は、集約されたストーリーより、細かいシチュエーションまで聞けて、よりリアリティを持って話を聞くことができました。
- 4 一事例を通して、介護のイメージをつけることができました。今後もこのような経験を通してのご発表を希望します。
- 5 自分あるいは同年代の人の立場になり、同様な状況におかれた時に、どうすべきかということを考えさせられるととてもいい機会となりました。多摩病院で働いていた時、多くの患者さんの生活にまでつっこんでいた気持ちでいましたが、全然足りないですね。
- 6 佐治先生のリアルタイムな介護の現状と、意思決定の方法を聞けてとても参考になりました。自分も母が脳出血で倒れた時のことを思い出しました。その時は、父が全て手続き等をやったので、再度、確認できて良かったです。
介護休暇、休業の使い方も知れたので、必要な時に活用します。
また、周囲にもこういう制度があると教えてあげたいと思います。
今回学んだ事は、患者さんにも活用していきます。
ありがとうございました。
- 7 佐治先生、お疲れ様でした。
これからもみんなで向き合って頑張っていきたいです。
- 8 佐治先生の素直なお話が聞けたのが良かったです。
- 9 義理の父が倒れて入院し、要介護になりましたが、病院と老健にお世話になっただけで、自宅介護は体験しないまま、亡くなりました。介護をすることになったら、どの位大変だったろうかと、不安になります。
今回のこのような体験や様々な支援の話、たくさん聞きたいです。
- 10 みなさんのコメントが参考になりました。
- 11 特養を申請するタイミングが良く分かりません。順番が来た時にまだ入所するほどの状態じゃない場合、先送りは可能なのでしょうか。
- 12 介護経験で苦労していることはよく分かったが、講演者の声が小さく、つらつらと話をされるので、どの点が介護に大事なのか伝わらなかった。
コメンテーターの皆さまの話はとても参考になり、良かった。
- 13 間のところで入った、委員の方のコメントが無いほうが良かった。全体を通しての流れが分かりづらくなってしまっていた。
パネルディスカッションは良かった。
- 14 お昼の時間など参加しやすい形だと、もっとたくさんの人が聴けたのでは・・・と思います。